



浦島伝説

令和6年5月10日

第5号

なすことによって学ぶ

5月25日（土）の体育祭に向けて、これから本格的な練習が始まります。体育祭では、生徒の皆さんが練習の成果を十分に発揮してくれるものと期待しています。保護者の皆様には、多数の皆様にご観覧いただくとともに、生徒たちへの心温まる応援をお願いいたします。

さて、学校には様々な行事があります。何のために体育祭はあるのでしょうか。学校行事にも目的があり、その行事を経験することで、普段の授業では学べないものを身につけていきます。

詫間中学校の体育祭では、1年生「詫中ソーラン!」、2年生「ともに」、3年生「総舞黎」と学年団ごとにダンスを披露します。また、ダンス以外にも、全員リレーや学級選抜競技もあります。学校全体や学年団で協力することを通して、団結を深め、生徒自身が応援の形を考えることで主体性を学び、自分たちでよりよいチームをつくる自治力を身につけることができます。また、体育祭の準備期間から当日まで、そして事後において、演技をすることはもちろん、友達を応援したり、体育祭の係活動で力を発揮したりする等、活躍できる場面があります。

さて、フォロアーシップの提唱者である米国カーネギーメロン大学のロバート・ケリー教授の調査によると、組織が出す結果に対して「リーダー」（組織を指揮する者）が及ぼす影響力は10%～20%程度に対して、「フォロワー」（リーダーを支えていくその他のメンバー）が及ぼす影響力は80%～90%になるそうです。この調査結果から、チームとして成果を最大化させるには、「フォロワー」の支えが欠かせないことがわかります。

体育祭でも、各学年団のダンスリーダーが学級、学年をまとめますが、他の団員たちの協力や活躍がなければ成立しません。他の団員たちがリーダーを支えていくことをフォロアーシップと呼んでいます。フォロアーシップとは、ただリーダーの言うことを聞くことだけではありません。リーダーの言葉を自分なりに解釈して、集団が一番よい結果を出すためにはどうすればいいのか、自分なりにできることは何かを主体的に考え、判断して行動することです。

このような主体的な行動がとれる人が、社会でも求められています。このような力は普段の教科学習では身につけることが難しいものです。この体育祭で様々な経験を積んで、全校生一人ひとりが、何かしら自分の力を高めて、また一つ大きく成長してほしいと思います。

